

新地町の復興状況

2015年6月号

新地町の主な復旧・復興事業の様子を写真で紹介しています

防災集団移転(高台への住まい再建)

防災集団移転団地は、町の中心から約1.5kmの範囲に7団地あり、既に移転した人と間もなく移転する人の計が「94%」を超えています。



最も大きい「雁小屋団地」、防集58区画、公住27戸(戸建て)



新地駅周辺整備、JR常磐線復旧

新地駅周辺で進められている土地区画整理事業は、盛土工事の最終段階を迎えています。先月、仮換地指定が通知され、近く保留地の価格等も決まります。区域内を通るJR常磐線は、平成29年春の再開通を目指し、高架橋工事が終わり一部区間ではレール敷きが始まっています。



災害公営住宅整備

災害公営住宅は、防集団地内では5つの地区に67戸を整備しました。その他2つの地区にも36戸を建設し、7地区すべてで入居しています。また、今年度は新しい新地駅周辺でも建設が始まります。

愛宕東住宅→
集合タイプ3階
30戸
一部ペット可



岡住宅 戸建てタイプ 14戸

農地・漁港の復旧

津波により田畑に漂流したガレキの撤去、及び、除塩作業が完了した農地から作付けが始まっています。漁業では、沈下した釣師浜漁港岸壁のかさ上げ工事が終わり、今後、荷さばき所や漁具倉庫が作られます。



←元常磐線西側
と新しい常磐線
の間に作付した畑

釣師浜漁港の漁船→
現在は試験操業のみ



道路整備

海岸を南北に通っていた県道37号線は、内陸側の元常磐線跡地にルート変更となり、盛土工事が行われています。他の県道や町道も、避難など防災を考慮して整備が進んでいます。



県道相馬亘理線(浜街道)は少し内陸に移動します



←大戸浜富倉線

大戸浜集落から内陸への避難路は「踏切」をなくします

防潮堤・防災緑地整備

新しい海岸堤防は、以前より1m高くなり工事が進んでいます。その背後には、津波の威力を弱める「防災緑地」を整備中で、盛土が終わった丘には町内外の皆さんにより、「どんぐり」を植樹するプロジェクトが行われています。



←どんぐりプロジェクト2014